

### 大王派

VS

### 王弟派

壁

昌文君の副官であり嬴政に忠誠を尽くす武将。昌文君を筆頭とした大王直属の一派の中で武の先頭に立つべく日々精進している。名家の出であるが気取ったところがなく生真面目な性格。信のことを気にかけている兄貴分的な存在。



副官

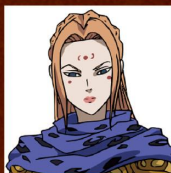
しょうぶんくん  
昌文君

嬴政に忠誠を尽くす文官。昭王時代は王騎と共に最前線で戦い多くの敵を蹴散らした武人だった。軍事経験が豊富であり、王騎からも「無骨な賢人」として高く評価されている。嬴政を支援するため自分も文官の極みである丞相を目指す。



忠誠

山の民



ようたんわ  
楊端和



バジオウ

協力

えいせい  
嬴政(政)

秦国の若き王。後の始皇帝。わずか13歳で王位につくも実権はほとんどなく名ばかりの王という地位に甘んじている。しかし、ただならぬ才覚と内に秘めた決意を持ち、誰も成し遂げたことのない中国全土の統一を目指す。



異母兄弟

信

戦争で孤児となり、故郷の集落の長の下で下僕として働く少年。最底辺の生活を余儀なくされていた少年。どんなときも全力で前へ進み、自らの腕一つで「天下の大將軍」として中国全土に名を響かせることを目指す。生まれ持った資質と幼い頃からの鍛錬により、驚異的な剣技を持つ。



協力

協力

身代わり

幼馴染

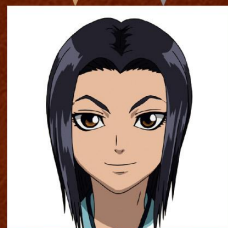


おうき  
王騎

「怪鳥」の異名をもつ武将。戦神と呼ばれた昭王の腹心であり、近づいただけで敵が平伏したという伝説の六大將軍の一人。昭王亡き後は一線から退いている。王宮内の権勢争いには全く興味を示さず血が沸き立つような戦場のみを求める得体の知れない人物。

ひょう  
漂

信の親友であり同じ戦争孤児。信と共に「天下の大將軍」を目指し日夜剣の修行に励む。下僕の身でありながら、嬴政と瓜二つの容姿が昌文君に見込まれ王宮に仕官することとなる。その任務は王の影武者となることだったが、刺客の手により命を落とす。

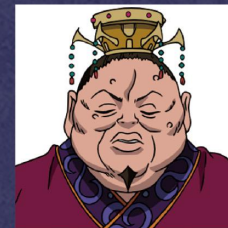


かりょうてん てん  
河了紹(紹)

フクロウを模した仮面を身につける、山民族鼻鳴(きゅうめい)の末裔。身寄りがなく一人で乱世を生き抜いてきた孤児。幼いながら字や史など多くの知恵を学んでおり、かなり賢い。また、料理の腕もビカー。

撃破

殺害



協力

けつし  
竭氏

秦の左丞相。中級大臣の頃からあらゆる手段を使って丞相にまで登りつめ、さらに呂氏を殺し秦国を独占することを狙う野心家。その為、嬴政から王位を奪い取ることを目論む成蟜と手を組み、共に反乱を起こす。

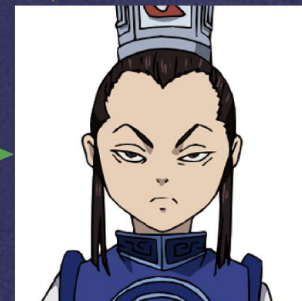


しし  
肆氏

参謀

せいきょう  
成蟜

嬴政の異母弟。王族の血を引き公主の子である自ら以外は人とは思わず、その人間がどのような位にしようとも下等な存在であるという歪んだ思想を持つ。そのため平民の血を引く嬴政が王となった事に怒り、竭氏と組み嬴政の暗殺を命じる。



命を狙う

調教

服従

暗殺者

ムタ

しゅきょう  
朱凶



ランカイ

成蟜のペットであり護衛役を果たす巨大な怪物。その破壊力は人間を一瞬で叩き潰してしまう程強力である。珍種の猿の赤子として売られていたのを成蟜が興味本位で購入し、念入りの調教を施したことになったとも言われる。